

## 6 関連情報

### (1) 高齢人工林の事例

#### 1) 飯田博治氏所有山林

##### ① 所有山林の概要

森林所在地：東神楽町八千代ヶ岡他  
森林面積：268ha

##### ② 経営の概要

・昭和27年(20歳)に農地40ha、山林50haの農林複合経営の後継者となる。その後農業を縮小し農地転用を行いカラマツの造林をすすめるとともに、離農者の森林及び原野を譲り受け現在の森林面積は約**268ha**となっている。

・森林の所在地は、東神楽町、東川町、旭川市、美瑛町の1市3町。

・森林整備は家族労働(本人、妻、長男夫婦)を主体とし一部臨時雇用で行っている。

・森林組合役員、林業グループ役員を歴任。現在指導林家。

・平成10年カラマツ人工林(当時林齢46年生)1、80haが「林業技術伝承の森」に選定された。伝承する技術は、強度間伐による疎仕立て長伐期施業。(写真の林分)



所在地：上川郡東神楽町八千代ヶ岡  
林分面積：1.80ha  
林齢：54年生  
本数 / ha：270本  
平均樹高：29m  
平均径級：37cm

##### ③ 森林資源の現況(2006.4現在)

単位：ha

区分	総数	～Ⅱ	Ⅲ	Ⅳ	Ⅴ	Ⅵ	Ⅶ	Ⅷ	Ⅷ	Ⅸ	Ⅹ～
人カラマツ	158			8	4	4	52	23	6	61	
工トドマツ	43	2		1		7	8		23	2	
林その他針	37			10	1	1	11	8	5	1	
広葉樹											
人工林計	238	2		19	5	12	71	31	34	64	
天然林	29							5	1	23	
無立木地	1										
総計	268	2		19	5	12	71	36	35	87	

##### ④ 経営の目標

- ・カラマツは伐期を定めず優良大径材を安定的に供給できる山つくりをすすめる。
- ・カラマツ人工林の仕立て目標は、樹高30m、胸高直径50cm以上を目指す。

## 2) 田中 信雄氏 所有 山林

### ① 所有山林の概要

森林所在地：深川市音江町

森林面積：11ha

### ② 経営の概要

- ・平成 11 年に父の信一氏より相続を受け父が手がけた森林が地域の指標林に設定されていることから、自分も山づくりを行い、次世代へ引き継ぐことが使命と考え所有山林を守り育てている。
- ・森林の所在地は、深川市
- ・森林整備は、森林組合に委託している。
- ・所有山林は、森林の持つ多面的機能が高度に発揮できる森林施業を取り入れながら行い、生産目標に達しても投資効果を勘案し伐期を延長する。



所在地：深川市音江町音江  
 林分面積：0.44ha  
 林 齢：74 年生  
 本 数 / ha：106 本  
 平均樹高：30m  
 平均径級：46 cm

### ③ 森林資源の現況(2006.4 現在)

単位：ha

区 分	総 数	～Ⅱ	Ⅲ	Ⅳ	Ⅴ	Ⅵ	Ⅶ	Ⅷ	Ⅷ	Ⅸ	X～
人 工 林	カラマツ	3								1	2
	トドマツ										
	その他針										
	広葉樹	1	1								
人工林計	4	1							1	2	
天然林	7						2	1		4	
無立木地											
総 計	11	1					2	1	1	6	

### ④ 経営の目標

- ・カラマツを主体に伐期を特定せずに優良大径材の生産をめざす。
- ・カラマツ人工林の仕立て目標は、樹高 28m、胸高直径 30 cm 以上をめざす。

### 3) 竹中一元氏所有山林

#### ① 所有山林の概要

森林所在地：池田町字千代田 他  
森林面積：1、046ha



#### ② 経営の概要

- ・祖父が大正 14 年長野県からカラマツ 1 年生幼苗を購入。昭和 2 年池田町内に無立木地を購入しカラマツ、ヨーロッパトウヒの造林を行ったのが林業の始まりである。現在の代表は一元氏で、専業林家である。

- ・森林の所在地は、池田町、音更町、浦幌町の 3 町。

- ・林業経営の必要労働の 98%は自家労働力（兄弟、子供）で、不足分は森林組合へ委託

- ・（有）竹中林業代表取締役

- ・平成 10 年カラマツ人工林(当時林齢 68 年生)3、40ha が「林業技術伝承の森」に選定された。伝承する技術は、カラマツ長伐期優良大径材生産技術。（写真の林分）

所在地：中川郡池田町字千代田  
林分面積：4.55ha  
林 齢：77 年生  
本 数 / ha：46 本  
平均樹高：36m  
平均径級：48 cm

#### ③ 森林資源の現況(2006.4 現在)

単位：ha

区 分	総 数	～Ⅱ	Ⅲ	Ⅳ	Ⅴ	Ⅵ	Ⅶ	Ⅷ	Ⅸ	X～
人										
カラマツ	466	83	5	12		37	82	109	81	57
工										
トドマツ	14	5		1	2		1	3	1	1
林										
その他針	20	8	2	2	1			2	3	2
広葉樹	1								1	
人工林計	501	96	7	15	3	37	83	114	86	60
天然林	519						119	6	3	391
無立木地	26									
総 計	1、046	96	7	15	3	37	202	120	89	451

#### ④ 経営の目標

- ・カラマツを主体に伐期を定めず優良大径材の生産をめざす。
- ・カラマツ人工林の仕立て目標は、樹高 30m、胸高直径 40 cm以上を目指す。

#### 4) 富良野市所有山林

##### ① 所有林の概要

森林所在地：富良野市島の下 他

森林面積：809ha

##### ② 経営の概要

- ・所有山林の多くは、過去に国有林からの払い下げによるものである。所有山林のうち **59%**が人工林で、カラマツ、トドマツが主体となっている。間伐は当初下層間伐であるが一定径級以上になると立木の均等配置に努めた定性間伐の方法で行っている。
- ・森林整備は森林組合へ委託。
- ・写真の林分は「紀元 2600 年記念行事」として 1940 年に植栽されたもので、生活環境保全林整備事業の導入により、カラマツ見本林として遊歩道や貯水池、緑化木の植栽などを行い、市民が森林に親しめる場所として整備を進めている。



所在地：富良野市島の下  
 林分面積：2.44ha  
 林 齢：67 年生  
 本 数 / ha：150 本  
 平均樹高：28m  
 平均径級：53 cm

##### ③ 森林資源の現況 (2006. 4 現在)

単位：ha

区 分	総 数	～Ⅱ	Ⅲ	Ⅳ	Ⅴ	Ⅵ	Ⅶ	Ⅷ	Ⅷ	Ⅸ	X～
人 工 林	カラマツ	193			4			36	39	27	87
	トドマツ	200			3	66	19	38	57	9	8
	その他針	85			6			3	29	37	10
	広葉樹	3		2		1					
人工林計	481		2	13	67	19	77	125	73	105	
天然林	315					10		29	2	274	
無立木地	13										
総 計	809		2	13	67	29	77	155	74	379	

##### ④ 経営の目標

- ・カラマツは疎仕立てを基本とし大径材生産をめざす。
- ・カラマツ人工林の仕立て目標は、樹高 30m、胸高直径 50 cm 以上を目指す。

## 5) 瀬口 強氏 所有 山林

### ① 所有山林の概要

森林所在地：置戸町

森林面積：71ha

### ② 経営の概要

- ・瀬口家の四男で、昭和 34 年に分家するに当たり一戸分 (5ha) の畑地を譲り受けるとともに自己資金で山林 2ha を購入し農林複合経営を始めた。農閑期には山で働き山づくりの知識を学んだ。将来、山林からの副収入を得るため、徐々に山林を購入し家族が所有する山林と合わせると **125ha** となっている。
- ・森林の所在地は、置戸町
- ・森林整備は自家用のミニグラップル、林業用トラクタ、運搬用トラック等で家族労働(本人、長男)を主体に行っている。
- ・置戸町議会議員、元置戸町森林組合長、指導林家。
- ・カラマツ高齢林実証展示林 (1951 年植栽) を設置。伐期は 80 年に設定し、地域の見本林として活用されている。



所在地：常呂郡置戸町字川南 4

林分面積：2.76ha

林 齢：47 年生

本 数 / ha：340 本

平均樹高：27m

平均径級：32 cm

### ③ 森林資源の現況 (2006.4 現在)

単位：ha

区 分	総 数	～Ⅱ	Ⅲ	Ⅳ	Ⅴ	Ⅵ	Ⅶ	Ⅷ	Ⅷ	Ⅸ	X～
人 工 林	カラマツ	53						4	13	25	11
	トドマツ	1							1		
	その他針	6			2			1	3		
	広葉樹	1								1	
人工林計	61			2			5	17	26	11	
天然林	8									8	
無立木地	2										
総 計	71			2			5	17	26	19	

### ④ 経営の目標

- ・生産目標は建築用材とし、長伐期施業に取り組み優良大径材生産を目指す。

## 6) 落井秀雄氏所有山林

### ① 所有山林の概要

森林所在地：北見市端野町

森林面積：14ha



### ② 経営の概要

- ・父が農業経営の備えとして山林を徐々に増やし、農閑期に親子で山林の手入れを行ってきたのが山づくりの始まりで、父より山仕事を学んだ。
- ・森林の所在地は、北見市
- ・森林整備は基本的に家族労働を主体としているが、高齢林分については森林組合へ委託している。
- ・所有山林の多くは7齢級以上の高齢級人工林である。施業方法は、成長の良好なところは疎仕立て、峰筋・沢地等はやや多めの仕立て本数とし、蓄積の確保に努めている。

所在地：北見市端野町緋牛内  
 林分面積：2.64ha  
 林 齢：51年生  
 本 数 / ha：320  
 平均樹高：26m  
 平均径級：30 cm

### ③ 森林資源の現況(2006.4現在)

単位：ha

区 分	総 数	～Ⅱ	Ⅲ	Ⅳ	Ⅴ	Ⅵ	Ⅶ	Ⅷ	Ⅷ	Ⅸ	X～
人 工 林	カラマツ	13						4	3	2	4
	トドマツ										
	その他針										
	広葉樹										
人工林計	13						4	3	2	4	
天然林	1									1	
無立木地											
総 計	14						4	3	2	5	

### ④ 経営の目標

- ・生産目標は、建築構造材・特殊材を目指す。
- ・カラマツ人工林の仕立て目標は、胸高直径40 cm以上とし、伐期は特に林齢を定めず成長状況や市況に応じ決定する。